

土居さんの土佐民話紙芝居にくぎづけ



楽しいゲームにワクワク



世代交流会

8月7日(日)、夏休みを利用して、普段集まりづらい3世代が集まるうと世代交流会をふれあいセンターで開催しました。お忙しい中、総勢40名ほど集っていただきました。

今回は、岩村消防団の方が5名も参加してくださいました。消防団のメンバーが誰なのか、地域の中でどのような役割を担っているのかを知ってもらったため

に、自己紹介もしていただきました。今年には熊本の地震もありました。南海トラフに向けての注意事項やそれに伴う消火器の実技をしてくださいました。参加者も8名ほど実践してみました。しかし、消火器のピンを外してホースを火の方向に向けレバーを押すとよいといわれましたが、とつさの時に行動ができるのか心もとない限りです。

次に社会教育指導員の土居さんに市原麟一郎さんの土佐の民話の紙芝居をしていただきました

た。おばけの話や地獄の間魔大王がやさしくなったお話を、子どもたちは目を輝かせて聞いていました。

ゲームはチーム対抗戦。リレー形式で、引いた紐を結んでひもの長さを比べるゲーム。紐を引く時のドキドキ感、短かったらがっかり、ずるすると長く出てくると大喜び。ボーリングゲームは、ボールが思う通りのピンに当たらず、最後の方には勝負そつちのけでボールが当たるまで何度も挑戦し、熱が入りました。

その後はおやつタイム。夏休み中の話をしながら、お菓子とジュースで歓談しました。

長い夏休みのたった一日の短い時間です。地域の大人を知り、地域の子どもを知る。大人も子どももお互い家族以外の地域に住む人たちを知るだけでも意義あることだと思えます。

日章小であゆみサミット



地域と学校の意見交換会

6月27日(月)

「日章小学校あゆみサミット」が開催され、岩村地区からは、田所秀二公民館運営審議会会長と和田真一南国市補導員が参加しました。

これは日章小が「明るく豊かで実りある日章」を創造していくために、保護

者・教職員・地域住民が意見交換して、学校運営を改善し、地域に開かれた魅力ある学校づくりをするためです。

この中で、学校の取り組みや英語教育への取り組み(1年生から年間35時間の外国語活動がある)や6年生の修学旅行の「平和学習」の発表などがありました。

参加した地域委員からは「日章地区には文化・スポーツに秀でた人材があるから、学習に活用し、特徴のある日章小を作っていくってはどうか」などの提案がされました。

(寄稿者・金地 中尾香代)

(編集部)

「豆電球」「ベリーダンス」も会場を盛り上げ、祭りは最高潮に

(前ページより続く)

今年のふれあい祭りのプログラムは、内容的に昨年とあまり変えてはいませんが、恒例のふれあいバザーから始まり、特に男性に人気のあるベリーダンスも、舞台前でのダンスでさらに迫力が増すことにより、会場が一体



男性が釘付けになったベリーダンス

化した祭りとなりました。

また、第1回ふれあい祭りから出演の「豆電球」のライブも、『岩村の歌』大合唱で盛り上がり、閉会前は参加者が歌い、踊り、近年にない祭りとなりました。

今回このふれあい祭りの運営



日章和太鼓クラブ

に快く参加していただいた各部落の皆様、各協賛団体の皆様、また、多くの協力をいただいたJA中央支所関係の皆様、そして岩村公民館運営審議会の皆様本当にありがとうございました。

来年も、皆様からのご意見等をいただきながら、『さすが岩村の祭りや』と言われるふれあい祭りが開催できることを願っています。

(寄稿者・田所秀二 岩村ふれあい協議会会長)



17時頃の会場の様子

お知らせ

公民館のイルミネーション点灯式 12月上旬に予定
公民館の資源ごみ回収 1月中旬、実施予定です

ご協力・ご参加をお願い致します